

Dear western movie material exhibition

なつかしの洋画資料展

映画史に残る西部劇の男たち



平成30年度
文化庁
国際文化芸術
発信拠点形成事業



文化庁

映画の国・北九州
レトロの街の映画・芸能資料館
松永文庫

お問い合わせ / 松永文庫
TEL 093-331-8013
E-mail: matsunaga.bunko@gmail.com
主 催 / 松永文庫(レトロの街の映画・芸能資料館)

2019年 **1月9日(水)~4月7日(日)** 9:00~17:00 ●休館日:月曜日(祝日の場合翌日)

●日時

●会場 **松永文庫**(旧大連航路上屋内) 門司区西海岸1丁目3-5

**入場
無料**

なつかしの洋画資料展

映画史に残る西部劇の男たち

入場
無料

企画展に寄せて

西部劇は、映画が誕生して間もなく製作された『大列車強盗』1903(明治36)年が始まりです。その後、銃・馬・インディアンなどを登場させて、スピードとスリルを随所に描いたアメリカ西部開拓期(19世紀後半)の活劇映画として知られています。西部劇を内容的に充実させたのは、セシル・B・デミル監督の『スコウマン』1913(大正2)年、ジェームズ・クルーズ監督の『幌馬車』1923(大正12)年、そしてジョン・フォード監督の『アイアン・ホース』1924(大正13)年です。特にジョン・フォード監督は、名優でミスターアメリカのニックネームで呼ばれたジョン・ウェインを主演に据え『駅馬車』1939(昭和14)年などの名作を次々に製作し、「西部劇の神様」と謳われました。マカロニ(スパゲッティ)ウエスタンは1960年代後半に登場し、大量に製作されたイタリア製西部劇です。『荒野の用心棒』1965(昭和40)年で、主演のクリント・イーストウッドが胸に鉄板をぶら下げて、相手の銃弾をはね返したり、荒唐無稽なガンプレイをクローズアップしてブームを起こしました。撮影された場所は大半がスペインの荒地で、その荒々しい風景もマカロニウエスタンの特徴です。映画は当初活動写真と言われたように、アクションが魅力の要素の一つですが、その後、時代の流れと共に馬上の追い掛けは車時代になって、カーチェイスに変化していきます。この企画展では、1930年代から近年に製作された西部劇映画を所蔵資料から選んで展示します。

ポスター展示リスト(抜粋)

- 1939年 「駅馬車」ジョン・フォード
- 1956年 「OK 牧場の決闘」ジョン・スタージェス
- 1965年 「栄光の野郎ども」アーノルド・レイヴン
- 1966年 「シャイアン砦」デビッド・ロウエル・リッチ
- 1966年 「ガンマン無頼」フェルディナンド・バルディ
- 1966年 「さすらいのガンマン」セルジオ・コルブッチ
- 1967年 「ネブラスカの一匹狼」アンソニー・ロマン
- 1967年 「黄金無頼」ナンド・チチェロ
- 1968年 「新荒野の七人 馬上の決闘」ポール・ウェンドコス
- 1968年 「夕陽に立つ保安官」パート・ケネディ
- 1969年 「荒野の大活劇」ドゥチオ・テッサリ
- 1970年 「モンテ・ウォルシュ」ウィリアム・A・フレーカー
- 1971年 「夕陽のギャングたち」セルジオ・レオーネ
- 1971年 「夕陽の挽歌」ブレイク・エドワーズ
- 1972年 「荒野のストレンジャー」クリント・イーストウッド
- 1972年 「荒野の七人 真昼の決闘」ジョージ・マッコフワン
- 1994年 「ワイアット・アープ」ローレンス・カスタン
- 2003年 「ワイルド・レンジ 最後の銃撃」ケビン・コスナー



マンスリーシアター(イベント情報)

2019年 **1/27日** 14:00開演
「忘れじの面影」1948年 アメリカ

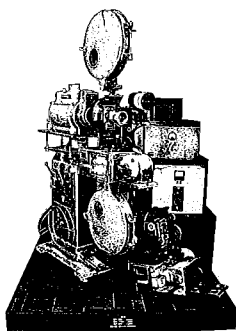
2019年 **2/24日** 14:00開演
「安城家の舞踏会」1947年 松竹

松永文庫について

松永文庫は、1997年(平成9年)10月、松永武(門司区長谷)が、映画研究のためおよそ60年にわたって収集した映画・芸能関連の資料を、自宅を開放して無料公開し誕生しました。2009年(平成21年)11月、これらの資料すべてを北九州市に寄贈。

北九州市の文化施設として、門司市民会館(門司区老松町)で無料一般公開されました。以来、テーマを決めて館内・館外企画展を開催し、県内外から訪れる多くの来館者に映画文化を紹介しています。

2013年(平成25年)7月、旧大連航路上屋グランドオープンに伴い、この地で松永文庫の資料展示を始めました。2016年(平成28年)5月、日本映画批評家大賞受賞。



新聞記事は生きている。だから生かし続けたい。
松永文庫の特性は、映画俳優を含む芸能全般に関わる、いわゆる芸能人と称される人達の「生き方」に力点を置いて関係資料を収集し続けていることです。

レトロの街の映画・芸能資料館
松永文庫

展示室(旧大連航路上屋):北九州市門司区西海岸1-3-5
TEL(093)331-8013 FAX(093)331-8012
E-mail:matsunaga.bunko@gmail.com

